

「しん」での自然的な生活機能向上

「しん」では、スタッフの「素」な性格のもとで、ご利用者様と笑顔が絶えない活発な交流が続いています。

その交流が続く中で、

「ご自宅にお伺いした時から、あらゆる場面で生活機能が高まる」

ような働きかけや取り組みが、**自然的**に展開します。

送迎

「しん」では、車椅子利用の方も普通の軽自動車や小型車に乗車して頂くことが多くなります。

… それは、**多くのご家庭が「車椅子のまま乗車できる福祉車両」**ではないからです。

また、着座の際には、立っている状態の中で、スタッフから**常にある声かけ**が展開されます。それにより、**転倒のリスクを軽減する安定した姿勢が強化**されます。

<強化する要素>

- 車への乗り移り動作
- 車への乗り移り動作のための筋力やバランス感覚・立っている姿勢

さりげないけど、確実に大事な工夫です！

「しん」に到着

最初に、自分の席を確認しますが、その確認する作業の積み重ねによって、**一日における他者との交流や行動、あるいは自らの交流の中での役割などをイメージする習慣**が高まります。

<強化する要素>

- 場所や人に関する見当識・物事に対する思考力や判断力
- 他者との交流イメージ・交流の中での役割
- 同じリハビリテーションを求める目的の中での談笑 → 発声力・表情の豊かさなど

「しん」での活動中

個別機能訓練ではより高いレベルで展開しますが、食事や入浴などのあらゆる場面の中で、**スタッフから意図的ではあるけれど、自然的に行う働きかけ**があり、生活の中での適応力が高まります。

<例>

- 「しん」では、センサーライトは設置していませんし、常時、電気は点けていません。
… **多くの家庭では、電気のスイッチは自ら必要な時にだけ電気を点け、消すから**です。
- 「しん」では、大型の浴槽がありません。
… **一般の家庭では、お風呂は個人が入る大きさだから**です。

ぜひ、皆様、見学に来られて下さいね！